

馬場ひでゆきの活動日誌

No.15

「この15号が皆さんのお手元に届くころは、2月議会の真っ最中です。この議会では、私も議場で一般質問をすることが出来ます。やっと順番が回ってきました！皆さんの声を議会に届けるべく頑張ります！応援よろしくお願いします。」

上野市議「新春の集い」

●直江津地区集会

2月10日午後1時30分よりワークパル上越で「共産党直江津地区新春の集い」が開かれました。私も参加しました。

上越市議会議員の上野こうえつさんが、「これから住民に寄り添って頑張っていきたい」と力強くごあいさつ。

その後は、市議とのキャッチボールトーク、「派閥」や「会派」ってなんだとか、労災病院の閉院についての質問が相次ぎ、予定時刻を超えてしまいました。

最後は参加者の皆さんのおたのしみ会。景品が用意されており、「やっぱり希望 馬場ひでゆき賞」という特別賞も用意されてました。



●北部ブロック集会

翌日2月11日午後1時30分からは、上野市議の地元のユートピアくびき希望館で「上野こうえつとぎつくばらんに何でもトーク」と題して新春の集いが開かれました。

私は、「上野さんとは、原発再稼働反対の市民共闘の結成時

からお付き合いさせてもらっています。上野さんはおおらかな人柄で、昨年春の選挙の時も、私の不安や悩みをきいてくれました。私にとっては大事な兄弟です」とあいさつ。これから一緒に頑張ります。

二月議会始まる 馬場、一般質問に立つ！

二月議会が始まります。この議会は、令和6年度予算を決める大事な議会です。そのため、左の図のとおり、会期日数が33日の長丁場（他の場合は20日間程度）になっています。

知事が冒頭で施政方針を演説、執行部が議案の提案をし（2月19〜20日）、議場での議員らの代表質問・一般質問があり（22〜29日）、付託された議案が各委員会で質疑され（3月4〜21日）、最後は議案の採決（22日）という流れです。

2月29日は、私も議場で初め

て一般質問します。

一般質問は、議場で知事や執行部に対して直接議員が個人として自らが考えている課題を問いかけることのできる機会です。私も、様々な方々に時間をいただいております。地元の課題でもある「原発再稼働」「病院再編」「農業政策」「交通政策」「教育」などのテーマで質問する予定です。

当日はネット中継され、後日録画も見ることが出来ますのでぜひご覧ください。勿論、当日議会の傍聴も可能です。



新潟県議会のホームページからインターネット中継を選択すると中継が見られます



議会の傍聴も可能です。

2月定例会（議会）日程

2月19日	月	13:00	本会議(開会)常任委員会・党議
2月20日	火	10:00	常任委員会・議員運営委員会・連合委員会
2月22日	木	10:00	本会議(採決・代表質問)
2月26日	月	10:00	本会議(一般質問)
2月28日	水	10:00	本会議(一般質問)・議会運営委員会
2月29日	木	10:00	本会議(一般質問) 午後4時から馬場が一般質問します
3月4日	月	10:00	常任委員会
3月5日	火	10:00	常任委員会
3月6日	水	10:00	常任委員会
3月7日	木	10:00	常任委員会
3月8日	金	10:00	常任委員会
3月12日	火	10:00	連合委員会
3月13日	水	13:00	本会議・常任委員会
3月14日	木	10:00	連合委員会
3月15日	金	10:00	連合委員会
3月21日	木	10:00	常任委員会(採決)・議会運営委員会
3月22日	金	13:00	本会議(採決・閉会)

能登半島地震の教訓を生かせ!

2月5日は、県議会で防災・脱炭素社会特別委員会が開催されました。議題は「能登半島地震への対応状況について」です。私と県の担当者との一問一答は次のとおり(本文中の○は、質問当時の私の心の叫びです。また、文中の「原子力課長」は、正確には原子力安全対策課長です)。

(避難経路の再確認は?)

馬場…能登半島地震で茶屋ヶ原付近で土砂崩れが発生し、国道8号線が寸断した。この道路柏崎刈羽原発に災害が発生した際の避難や人的援助の主要道路となる。米山から糸魚川にかけて茶屋ヶ原と同じような危険があると思うがどういふ点検をしたのか。

道路管理課長…米山―糸魚川間の道路は主に国道8号線あるいは北陸自動車道で県の管理道路ではない(国の管轄だから県は関知しないってか?)が、災害直後は緊急のパトロールをして他は異常がないことを確認したと認識している。

(避難経路を記録に遺せ!)

馬場…津波警報発令後、あらゆる民家から車が出てきて国道18号線や同253号線が渋滞した。こういう実際の避難行動を記録として遺し、国に伝えてほしい。原子力課長…今回の能登地震が原子力災害とイコールになつて

いない状況の中で答弁するのは限界がある。渋滞については原子力災害と重なったときにはどうすればよいのかというのは確かに悩ましい問題だ。

馬場…国の屋内退避という考え方は実際的ではない。避難委員会を立ち上げて今回の地震被害の避難の実際について検討するという考えはないのか。

原子力課長…屋内退避の有効性が変わっていないことは山中委員長もおっしゃっている(はあ?)。ただ今回目の前に退避する家がないなどの問題がある状況で論点整理が命じられている。…避難委員会については今のところ考えていない(消極的だなあ)。

(屋内退避は机上の空論)

馬場…屋内退避は机上の空論。災害はいつ起こるか分からない。国の規制委員会の対応を待つのではなく、現場の意見を集約して現実的な避難計画を独自に考えてほしい。委員長…今の馬場議員の質問、



私の推し本その5の2

本多勝一著「そして我が祖国・日本」(朝日新聞社)

「田中角栄を圧勝させた側の心理と論理」は、雪深い新潟では、昔、冬になれば男はみんな都会に出稼ぎに行っていた、それを公共工事で仕事を作り出し、出稼ぎに行かなくてもいいようにしたのが角さんの最大の功績だ、その角さんが刑事責任を追及されている、自分たちの恩人「角さん」を今助けられないでどうするんだ?この気持ちが過去最高得票をつくりだした、という内容でした。

当時の「田中角栄は犯罪者、それを支持する新潟県民はおかしい」という世論に対して、本多さんは、5カ月も雪に覆われて暮らす住民の生活の大変さを描きだし、そこから角栄を生み出した住民の心理に食い込んでいったわけで、その文章はとても刺激的でした。

他方で、本多さんは、自民党が都会と地方との格差をつくり、出稼ぎをさせてきたのはほかならぬ自民党で、角栄のしたことがマッチポンプでもあり、それを住民がまだ見抜けていないことも冷静に指摘しました。

モノゴトの分析の仕方を教えてもらいました。

大事な論点だから、これについても答弁してください(わあ!委員長が加勢してくれたあ)。原子力課長…県、自治体独自が考えるのは現実的に厳しい。ただ、馬場委員が言った問題も決して私も理解できないわけではないので、屋内避難の問題については国にしっかり求めていく(ホント、そうしてほしいわ)。

(原発を取巻く断層の再評価を)

馬場…佐渡沖に割れ残り断層がある、原発周辺にも活断層がある、これらの断層の危険について再度県として調査、評価する考えはないか。

原子力課長…新規制基準の断層評価では、既にそれらの断層が揺れることを前提にして耐震基準や耐震設計がされている。防災局長…ただし、新しい知見が出てくれば、当然改めて考えてもらいたいと東電に伝えていく。また規制委員会もバックフィットという新しい知見を盛り込むということも考えている。

馬場…今回の地震で本当に不安で不安で仕方ない。私だけではなくていろいろな人が感じているのではないか。是非皆さんもご尽力していただきたい。

(感想) 能登半島地震後の初めての委員会であり、県の前向きな答弁を期待しましたが、避難対策については国まかせみたいな答弁が目立ちました。これが今の県の現状です。引き続き頑張ります。

発行責任者: 馬場ひでゆき事務所
住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号
ダイヤパレス高田式番館2階
電話 025-546-7110
ファックス 025-546-7666
メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp